

令和3年6月11日

特定非営利活動法人 光 会員各位

特定非営利活動法人 光 理事長 岡田 増夫

「冊子」2冊を謹呈して、早速、松岡弁護士から電話を頂きました。

本日は、私にとって2つの喜びがありました。

先ず本日、キャリアコンサルタントの国家資格・5年毎の継続に必要な、更新講習が Zoom による受講しか出来ない事態になり、特訓を重ねて何とか対応できるようになった事。

併せて、標記、松岡弁護士から、早速に電話を頂き**激励**を受けました。

電話交流の中で、私の構想「次の冊子発行」のために、「寄稿」頂くようお願いしました。引き受けて頂きました。皆さんも、思いのままに「寄稿」頂きたく存じます。

私は、今回お配りした2冊については、次の様な「思いの枠組み」を連想しています。

<p>平成17年三原市で、 主催：雇用・能力開発機構 キャリアコンサルタント養成講座 修了</p> <p>平成18年福山市で、主催： 高齢社会 NGO 連携協議会 「市民後見人養成講座」修了</p>	<p>令和元年に広島市で、主催： NPO 法人心の絆 「市民後見人養成講座」修了</p> <p>厚みのある3冊の教材と、 当NPO法人の立上げに関わる多くの経験</p> <p>京都の内藤健三郎氏の暖かい指導・助言と冊子の発行</p>	<p>認知症 鉄道事故 裁判</p> <p>三原市が、県内初「認知症高齢者個人賠償責任保険」を導入、その動機は、上記裁判の由。また「冊子」を三原市の職員、社協の職員、市内全町内会長、老人クラブ会長、民生委員等にも配布。</p> <p>好事例発生で、今後に大きな希望を感じております。</p>
<p>2000年に、介護保険と、成年後見制度の施行。</p> <p>数年して、施設入所待ちの事実、自宅介護への期待</p> <p>2025年問題、8050問題、介護離職10万人の問題等</p>	<p>何といたっても中心は、 「冊子」 さて これから先をどう生きる！</p> <p>善意の発行と配布の努力。 その効果が見えて来た喜び</p>	<p>自分自身が「任意成年後見制度公正証書」を認め。続いて「尊厳死宣言公正証書」「遺言公正証書」も認めました。こうした事実を元に、三原市社会福祉協議会の「出前講座」になりました。</p>
<p>本年4月1日に、全国市民後見推進協議会が発足。</p> <p>私共が念願する、老親は田舎に、子供は都会で現職真っ只中のケースにも、地域活動と全国ネットの連携に期待大。</p> <p>当地域の、見守り活動において、貴重な体験も有ります。</p>	<p>地元金融機関の理解を得、29の店舗に口座開設。</p> <p>先日、取引金融機関から、取引先に、「後見制度の利用を考えておられる方が有りました」との情報と相談がございました。お役に立ちたく思っております。</p>	
<p>福山・三原・広島・呉・三次の各市にて、毎月、相談・研修会を開催</p> <p>介護職の女性(49歳)の職場体験から、施設入所者が、その人の後見人が来所した時に、明るく元気になる！「私も後見人として、高齢者のお役に立てるように成りたい」との気持ちを抱き三原市の職員に相談、これに応じた人が「冊子」を読んでいて紹介～貴重な出会いが生まれました。</p>	<p>県立広島大の「生活充実講座」を広める会にも協賛。</p>	
<p>成年後見制度の関 巻しい 相談業務の過程でも体験有。</p>	<p>県立広島大の「生活充実講座」を広める会にも協賛。</p>	

今回の冊子2冊、左下角から 右肩上がりに思慮を移して、読んで頂ければと思います。